



「生きる喜び」を感じるままに

◆芸能音楽祭2012

11月3日(土・祝) 富士見グリーンカルチャーセンターにおいて、第46回富士見町総合文化祭・芸能音楽祭2012が開催されました。

午前に音楽の部、午後には芸能の部が行われ、各団体が日頃の練習の成果をステージで発表しました。「想い」が入った発表は、観客の「心」に伝わり、涙を流している方もいました。

(写真:富士見オカリナゆりの会)



交流から全ての「絆」が生まれる

◆姉妹町交流事業 ～区長交流～

11月6日(火)～7日(水)の2日間、姉妹町交流事業として、西伊豆町の区長さん方にお越しいただきました。1日目は、カゴメ(株)富士見工場を見学された後、コミュニティ・プラザ内の博物館「高原のミュージアム」で自然と文学に触れ、夜は富士見町の区長の皆さんと交流を深めました。

2日目は、井戸尻考古館で縄文時代の世界観・神話などの説明を受けました。この2日間、有意義で価値のある交流がされたことと思います。



紅の葉が降る中で富士見を想う

◆プレミアム紅葉ガイドツアー

11月10日(土) 富士見町の隠れた紅葉の名所をめぐる「プレミアム紅葉ガイドツアー」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、諏訪管内をはじめ首都圏からも足を運んでいただき25名によるツアーとなりました。軽井沢と並んで、多くの文人たちに愛されてきた富士見町。美しく、はかない文学作品の舞台となり、かつての歌人たちが活躍した場を肌で感じていました。



生活に関する「大切な情報」を体験

◆第30回富士見町生活展

11月11日(日) 町民センターで、第30回富士見町生活展が開催されました。住みよい地域づくりを目指し、健康・食生活・環境・福祉・防災など生活に係る団体が展示や実演など、日頃の活動内容を発表しました。

また、今回の生活展を通じて、衣類の支援物資を東北の被災地へ送り、さらに日本救援衣料センターにも寄付しました。

